

な～に谷っ戸ん田 4年目の29回目 - 草取り、草刈り、土寄せと追肥 -

と き： 平成 22 年 10 月 23 日(土) 9:30～16:15

ところ： 堀の内畑

天 気： 晴れ

参加者： 石田、磯(午後)、オズ(昼食後 2 時頃まで)、加藤、霧生(午前)、久保、佐々木利江、
高田直子、福井(午前)、瑞季さん(福井姪・午前) 計 10 名

活 動：

【午前】

- ・刈り払い機 2 台と鎌を使って堀の内畑の草刈り。じゃがいも畑はけっこう草が伸びていて、鎌で草を刈る。かぶ・水菜・小松菜・ほうれん草ほかの畑は発芽が見られ、雑草と見分けながら手で草取りする。雑草とはいえ、おいしそうな草があって、食べられそうだねえなどと言いながらの作業であった。畑の周囲は刈り払い機で草を刈っていく。福井さん、刈り払い機の実地研修。「楽しいですねえ」と時間をかけて刈った。
- ・休憩時間に瑞季さんがチョコレートを差し入れ。おいしかった。
- ・午前で帰る人のお土産として、黒豆を枝豆用に収穫。佐々木家の畑で収穫されたナスもお土産に頂いた。

【昼食】

谷っ戸ん田に戻って、各自、お弁当。

石田さんから洋なしの差し入れ。水気があり甘くて美味。

【午後】

- ・トマトやイチゴも気になったが、午前に続き、草刈り・草取り作業。
- ・鍬を使ってジャガイモの土寄せも行なった。
- ・また、追肥としてグリーンが(株)横浜環境保全からもらった生ゴミリサイクルによる堆肥を撒く。が、一袋のみなので、おしるし程度。
- ・午後はじゃがいも畑を中心に作業する。草取りは変化がなくて退屈な作業ではあるけれども、よく観察しているとそれぞれにこだわりのやりかたがあって、なかなかおもしろい。左手で草の根元をさぐりながらいねいに草を取っていく佐々木方式。地面がきれいに見える。鎌を軽く振りながら刈った草をそのまま地面にばらまく石田方式。地面にころがっても汚れない。左手で鎌を振り、がしがしと根切りしていく久保方式、などなど。鍬を使っての土寄せもおこなった。
- ・天気も良く、風もなし。暑くも寒くもなく快適ではあったが、作業終了時には足・腰が悲鳴をあげていた。
- ・お土産に黒豆を収穫する。石田さんが巨大な一株を発見し、久保さんが記念撮影。
- ・堀の内解散するが、石田・磯・久保さん三人は谷っ戸ん田に戻り、鍬と鎌を洗って片付け、さらに石田さんはグリーンに戻って刈り払い機などを片付け。
黒豆は早速ビールのつまみになりました。甘くて味わい深く、満足満足。奮闘してくれた柴田さん・吉田さん・石田さんの勇姿を思い浮かべ、三人に感謝しつつ、ビールを飲み、静かに秋の夜が更けていきました。

(記録：加藤 彰)